

政治家（行政職員）との意見交換の場

準備プロセス

- ・ 提言・発表をする代表者をクラスで選定（6人）
- ・ クラスで一人ずつ意見を作成し、話し合いで9つに絞る

本番当日

- ・ 100人以上参加（政治家・報道）
- ・ いくつかの意見が具体的検討へ
 - － 「校庭を大きくしたい」
 - － 「校庭に時計を置きたい」



ベルリン・パンコウ区

- ユースジュリー（若者審査員） -

- 内容：若者がやりたいことを募り、企画書を申請して、予算を話し合い、若者で審査を行う。
- 対象：12歳 21歳を対象、最低3人から応募可
- 選考：選考委員は応募したチーム（学校、ユースクラブ）から各二人、選考基準も若者で決める。
- 事例：スキムボートの設置、学校の壁のペイント、トイレやキッチンの改修

ベルリン・パンコウ区 —U18（模擬選挙）の実施—

■ **目的**：選挙（連邦、州レベル）の9日前に行う模擬選挙で、選挙権を持たない18歳未満を対象

■ **事例**：2014年5月のEU議会選挙

■ **主な内容**：

- 1) EUを学ぶための**教材・資料**を子ども・若者で作る
- 2) 模擬投票の**投票箱**も自分で作成（コンテスト有）
- 3) 子ども・若者で**政党を作って**議論する
- 4) 模擬投票後、**オンライン選挙特番**で結果発表

ベルリン・パンコウ区 — U18 (未成年模擬選挙) —



生徒会支援団体 (SV Bildungswerk)



生徒会支援団体

■ **目的**：生徒会の支援・エンパワーメントで、
主なメンバーは元生徒会経験者

■ 生徒会の主な活動

- 1) 学校会議（意思決定機関）での発言・提言
- 2) 学校内の日常的な活動・イベント運営
- 3) 生徒会連合による外への働きかけ

■ 生徒会支援団体の主な活動

- 1) 定期セミナー研修（生徒会支援者養成）
- 2) アドホックな生徒会活動支援

生徒会支援団体

- 定期セミナー研修（生徒会コンサル養成） -

■ 主な概要

- 5日間のセミナー研修（参加者は20名程度）
- 修了者は20名～60名の生徒に向けたセミナーを実施する

■ 主な内容

- （先生や校長に対する）弁論技術、チームビルディング、プロジェクトマネージメント

■ 主な成果

- 2010年に135回、2013年に60回

まとめ

■ 直接参画のチャンネルの拡大

ステップバイステップ

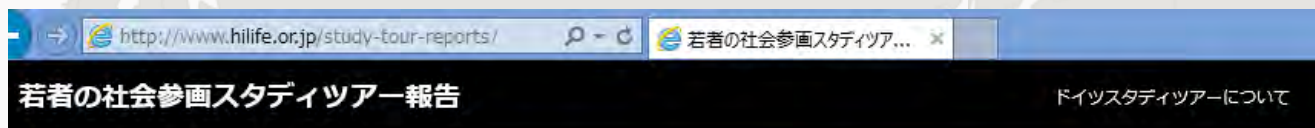
代表制（Representativeness）

- 若者団体の組織化および活動支援
（生徒会、地域団体、NPO）
- 地域リーダーの人材育成支援
- ICTを活用した参画推進
- 子ども・若者フォーラム（議会）

■ 学校教育等での参画基盤強化

- シティズンシップ教育

参考：ドイツ視察動画の配信



- ・若者向けのオンライン参画ツール「e-PARTOOL」
- ・「文化で強くする」プロジェクト

お話：

Sanja Zelko（連邦若者協議会「e-PARTOOL」担当）

Carina Fischer（連邦若者協議会「文化で強くする」担当）

取材：NPO法人Rights

通訳：綿谷江利菜

撮影・編集：熊倉次郎

映像制作：公益財団法人ハイライフ研究所

www.hilife.or.jp/study-tour-reports/

参考：NPO Rightsによる視察・報告書

特定非営利活動法人 Rights
スウェーデンスタディツアー
報告書

2010年8月出版

2010年8月



2015年2月出版

特定非営利活動法人 Rights
英国スタディツアー報告書

2012年3月出版

2012年3月

2014年ドイツの視察ツアーの日程

	視察先	場所
9月1日 (月)	連邦政治教育センター (官庁)	ボン
	国際ユースワークセンター (準官庁)	
9月2日 (火)	新しい若者政策のための協議会 (官民団体)	ベルリン
	生徒会支援団体 (民間)	
9月3日 (水)	連邦若者協議会 (連邦レベルの若者利益団体)	
	社民党青年部 (政党)	
	ベルリン・パンコウ区 (自治体)	
9月4日 (木)	ブレンドドビー総合学校 (中学校・高校)	
	ベルリン州若者協議会 (地域レベルの若者利益団体)	
	Youth Policy.org (国際NGO)	
9月5日 (金)	ブランデンブルグ州議会選挙の若者向けイベント	ポツダム